

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

|         |   | 所属名      | スポーツ振興課       |       |   |  |
|---------|---|----------|---------------|-------|---|--|
| 事業No.   | 事業名   |          |               |       |   |  |
| 1       | 【重点事業】子どもを対象としたスポーツ事業の実施  |          |               |       |   |  |
| 事業概要    | ①各体育館等において、子どもや親子が参加できるスポーツ事業（一般公開、教室・講習会、交流機会など）を開催する。<br>②「子どもサポートプラン」を実施し、区立プールを中学生以下の子どもに対して無料で開放をする。   |          |               |       |   |  |
| 計画目標    | 拡充  | 目標に対する評価 | C：計画目標を一部達成した | コロナ影響 | 有 |  |
| 令和4年度実績 | ①各体育館等<br>駒場体育館 14,911人、区民センター体育館 40,182人、碑文谷体育館 14,013人、中央体育館 6,904人<br>八雲体育館 2,933人、宮前公園庭球場 164人、砧野球場・サッカー場 1,031名<br>②子どもサポートプラン<br>駒場体育館 0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）、区民センター体育館 0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）、五本木小学校屋内プール 0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）、碑小学校屋内プール 0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）、緑ヶ丘小学校屋内プール 0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） |          |               |       |   |  |
| 評価の理由   | ・新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数を縮小するなど感染防止対策を講じながら、可能な限り親子及び子どもが参加できる事業を実施した。<br>・感染防止対策として利用人数を制限する中、利用希望者の増加につながる「子どもサポートプラン」については引き続き中止とした。   |          |               |       |   |  |
| 課題など    | コロナ禍における利用制限等を解除し、これまで縮小等していた事業も規模を拡大して開催することになるが、区民が安心・安全かつ楽しめるスポーツ事業となるよう、引き続き関係団体と連携しながら検討を重ねていく必要がある。   |          |               |       |   |  |

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

|         |   | 所属名      | スポーツ振興課       |       |   |  |
|---------|---|----------|---------------|-------|---|--|
| 事業No.   | 事業名   |          |               |       |   |  |
| 2       | スポーツ観戦事業の実施                                   |          |               |       |   |  |
| 事業概要    | スポーツの感動や応援するきっかけとなるよう、トップアスリーの競技を観戦する。        |          |               |       |   |  |
| 計画目標    | 新規  | 目標に対する評価 | C：計画目標を一部達成した | コロナ影響 | 有 |  |
| 令和4年度実績 | トップアスリート競技観戦事業観戦種目及び参加者数<br>・ソフトテニス 23人       |          |               |       |   |  |
| 評価の理由   | 新型コロナウイルスの影響により実施種目は減ってしまったが、一部事業を実施することができた。 |          |               |       |   |  |
| 課題など    | 特になし  |          |               |       |   |  |

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

|         |   | 所属名      |               | 子育て支援課（児童館） |   |
|---------|---|----------|---------------|-------------|---|
| 事業No.   | 事業名   |          |               |             |   |
| 3       | ティーンズフェスティンめぐろ  |          |               |             |   |
| 事業概要    | 中高生の視点で文化的イベント・スポーツ的イベント等の企画、大人たちと世代を超えた交流を図り、中高生の社会参加と地域の活性化を図る。   |          |               |             |   |
| 計画目標    | 継続  | 目標に対する評価 | C：計画目標を一部達成した | コロナ影響       | 有 |
| 令和4年度実績 | 新型コロナウイルス感染症のため、事業を集合形式のイベント事業は中止し、各児童館単位での小規模イベントを実施した。スポーツイベントとしては、バレーボール、卓球、バトミントン、バスケットボールの大会を中高生達と企画、実施した。 |          |               |             |   |
| 評価の理由   | 新型コロナウイルス感染症対応として集合型イベントの実施は見送ったが、小規模でも集って何かイベントをやりたいという中高生の意見を踏まえ、感染症対策を行いながら、分散型イベントを実施した。                    |          |               |             |   |
| 課題など    | 今後は、社会状況を踏まえながら、世代間交流や中高生の社会参加という視点での新たな事業展開を検討していく。  |          |               |             |   |

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

|         |  | 所属名      | 学校運営課       |       |   |  |
|---------|--|----------|-------------|-------|---|--|
| 事業No.   | 事業名  |          |             |       |   |  |
| 4       | めぐろ元気あっぶ教室の実施  |          |             |       |   |  |
| 事業概要    | 肥満や体力不足など健康に課題のある児童を対象とした運動教室をめぐろ学校サポートセンター・区内小学校等で年間3期に分けて実施する。学校において児童観察している学校健康トレーナーが主体となって、児童に合わせた運動プログラムや生活プログラムを提供する。  |          |             |       |   |  |
| 計画目標    | 継続   | 目標に対する評価 | B：計画目標を達成した | コロナ影響 | 有 |  |
| 令和4年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>めぐろ元気あっぶ教室<br/>会場：八雲小学校、碑小学校、中目黒小学校、五本木小学校、上目黒小学校<br/>参加者：前期 延べ1,095人、後期 延べ1,117人<br/>実施数：11コース各12回</li> <li>夏季水中運動教室 期間：4日間 参加者：延べ144人</li> <li>ワクワク特別講座 期間：1日 参加者：親子合わせて205人</li> </ul> ※コロナ対策のため実施コースを増設し1コマ当たりの人数を分散した。その影響で年間3期制・各コース15回開催ができなかったため、年間2期制・各コース12回の実施とした。 |          |             |       |   |  |
| 評価の理由   | 毎年年度末に教室内で実施をしている児童・保護者アンケートの結果で99%が「満足した」と回答した。<br>保護者アンケートでは、健康課題改善に向けて児童の様子が「変化した」と回答したのは86%だった。この結果から、元気あっぶ教室を通して、「運動が楽しい!」と感じる子どもが増えている。その結果、自身の健康課題に向き合い、改善へ向けた取り組みが家庭内でもできているといえる。  |          |             |       |   |  |
| 課題など    | 年度末アンケートの中で毎年要望として多数意見が上がるのが、元気あっぶ教室の回数や水中運動教室の回数を増やしてほしいという意見である。これには、実施会場の借用や人材が必要になる。現状の体制では年間の実施回数を増やしていくことは困難であるため、他の対策を考える必要がある。<br>また、卒業生の保護者から中学へ行っても元気あっぶ教室を続けたいとの声も毎年上がっている。現状では、小学生のみが対象となっているため、継続しての参加は不可能である。今後、卒業生に対しての継続的なサポートについても検討していく必要がある。  |          |             |       |   |  |

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

|         |   | 所属名      | 教育指導課 |       |  |
|---------|---|----------|-------|-------|--|
| 事業No.   | 事業名   |          |       |       |  |
| 5       | 東京駅伝開催に係る支援   |          |       |       |  |
| 事業概要    | 東京都教育委員会主催の中学生「東京駅伝」大会に、目黒区の中学生を代表して出場し他区市の生徒と競い合うことで、生徒の競争力及び体力の向上を図りつつ、スポーツそのものや自らの体力について考える機会を設ける。 |          |       |       |  |
| 計画目標    | 継続  | 目標に対する評価 |       | コロナ影響 |  |
| 令和4年度実績 | 令和2年度で事業終了予定だったため、令和元年度の東京駅伝への支援をもって本事業は終了となった。   |          |       |       |  |
| 評価の理由   |   |          |       |       |  |
| 課題など    |   |          |       |       |  |

|         |  | 所属名      | 教育指導課       |       |   |  |
|---------|--|----------|-------------|-------|---|--|
| 事業No.   | 事業名  |          |             |       |   |  |
| 6       | 学校における体育活動の充実<br>①めぐろ子どもスポーツ健康手帳等の作成・配付<br>②体力テストの実施   |          |             |       |   |  |
| 事業概要    | ①子どもを取り巻く社会・家庭環境の変化に伴う基本的な生活習慣の変化を意識しつつ、健康教育を進めていくことが求められる中、子ども自身が自分の健康状態や体力を認識し、目標をもった取り組みに資する教材・資料を提供する。<br>②体育の時間や体育的行事を通じ、生涯にわたり運動に親しむ態度を育てるとともに、体力テストにより子どもの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努める。 |          |             |       |   |  |
| 計画目標    | 継続   | 目標に対する評価 | B：計画目標を達成した | コロナ影響 | 無 |  |
| 令和4年度実績 | ①<br>・令和3年度、体力向上推進委員会において作成した「めぐろ ここカラダシート」を改訂して全校・園で実施した。<br>・体力向上推進委員会（年3回）を開催し、「めぐろ ここカラダシート」の活用状況等を確認し、令和5年度に向けて改訂を行った。<br>②<br>令和4年度全校体力テストを実施し、子どもが楽しく継続的に取り組むための指導方法の改善を図った。            |          |             |       |   |  |
| 評価の理由   | 令和4年度体力向上推進委員会において、各学校・園における「めぐろ ここカラダシート」の活用状況を確認し、改訂作業を行った。また、体力向上に向けた事例集（「めぐろ ここカラダシート体力向上取組事例集」）の検討を行い、「めぐろ ここカラダシート」の参考資料としてデータで各学校・園に送付した。   |          |             |       |   |  |
| 課題など    | 令和5年度は、令和4年度に改訂した「めぐろ ここカラダシート」や東京都統一体力テストの結果を記録できるスプレッドシートの成果等を検証する必要がある。   |          |             |       |   |  |

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

|         |   | 所属名      | 学校運営課         |       |   |  |
|---------|---|----------|---------------|-------|---|--|
| 事業No.   | 事業名   |          |               |       |   |  |
| 7       | 運動部の部活動(小学校の特設クラブを含む。)における外部指導員等に係る支援の実施  |          |               |       |   |  |
| 事業概要    | 児童・生徒が自らの適性や興味・関心を伸ばし、体力の向上やスポーツを愛好する心を育む機会となる部活動の一層の活性化のため、教育の指導を補完する外部指導員等の確保と有効活用による質の高い指導の充実を図るとともに、大会参加等の公費負担による支援を行う。   |          |               |       |   |  |
| 計画目標    | 継続  | 目標に対する評価 | C：計画目標を一部達成した | コロナ影響 | 有 |  |
| 令和4年度実績 | 部活動数(運動部のみ)：小学校 2校2部、中学校9校73部<br>経費支出：試合参加児童・生徒旅費支出、試合参加費分担金支出、<br>外部指導員等謝礼支出、部活動合宿参加経費支出<br>運動部指導員配置：部活動指導員20人、外部指導員53人<br>外部指導員全体研修会参加実績(運動部のみ) …秋季実施(インターネット・DVDによる映像研修) |          |               |       |   |  |
| 評価の理由   | 部活動指導員等、外部指導者の配置を希望する学校に対して配置することができた。一方、外部指導者の質の向上を図ることを目的に年2回の全体研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修講師及び研修方法の調整が難航し、秋季のみの実施となった。  |          |               |       |   |  |
| 課題など    | 外部指導者の活用の推進に当たっては、部活動の地域連携・地域移行等を考慮しつつ、学校、関係部署とも連携の上、部活動が後退することがないように対応する必要がある。このため、外部指導者を対象とした研修についても、多様化するニーズをいかに把握し、資質向上に向けた満足度の高い研修機会を設けていくことが課題となっている。                 |          |               |       |   |  |